

# 書林編纂書目板元名寄 (一)

— 元禄九年・元禄九年（後修）  
元禄十一年・宝永三年・宝永六年・正徳五年 —

市古夏生

江戸時代には書肆の手になる各種の書籍目録が刊行されていくと周知の如くである。それらの中に収載書籍の蔵板者名を記す系列のものがある。初刊は元禄九年で以後正徳五年の刊記を有するものまでであるが、今ここに作成したのはそれらの蔵板者別索引である。

江戸時代の出版書肆の一覧は、井上和雄氏編・坂本宗子氏増訂『増訂<sup>以紙</sup>書買集覧』（昭和四十五年刊）、矢島玄亮氏編『徳川時代出版者集覧』正統（昭和五十一年刊）などがあるが、本名寄はそれらとは異った性質を有する。その違いをいえば、江戸時代全体を覆うものではなく、元禄から正徳にかけての僅か二十年程の間の出版書肆名しか出て来ない。それも京都の書肆が網集したので、大坂がやや手薄であるし、江戸に至っては更に手薄であるという感は否めない。その上に、俳書がほとんど載せられて

いないので、俳書を中心に出版している井筒屋庄兵衛の如きは、蔵板点数が大分少なくなっている。また書籍目録には誤記が満載とまではいわなくとも多々あることは常識であるが、それを基にして作成した名寄も、誤りが当然あろう。更に書籍目録の常として正式の書名を記すこと少なく、略称を記するのが一般的であり、不便この上ない。

ただこれらの書目は、元禄より正徳にかけての京都の書肆を大多数載せていると考えられ、そして誤りがあるにせよ、大多数の蔵板書が記載されている。元禄より正徳にかけて各書肆が、どのような傾向の書物を出版しているか、特定の作者との結びつきがあるのか、書肆によって本の値段の上げ方に特徴があるのか、相板者にはある程度同一書肆がなるのか、ある書肆の板木はある程度同一書肆に移動していくのか、などの疑問が

少しでも明らかにならないかと考え、本名寄を作成してみたのである。こうした目的を持っているので、名寄とは題しながらいささか記述が煩雑で判りにくいかも知れないことをお断りしておく。

さて、書目は同じ刊年のものでも収載書に増減があつたりするので、まず諸本研究から着手すべきなのであるが、現在のところ諸本研究をしているとはいいい難いという始末で、斯道文庫編「江戸時代書林出版書籍目録集成」に専ら頼つた。追つて諸本調査を完了して、本名寄の修正を目論んでいる。以下は名寄の凡例。

一、この名寄に使用した書目は蔵板者名の記載ある、A元禄九年書目、B元禄九年書目(後修本)、C元禄十一年書目、D宝永三年書目、E宝永六年書目、F正徳五年書目、の六種である。以下の凡例及び索引に、A、B、C、D、E、Fの呼称を用いる。

一、A E Fは「江戸時代書林出版書籍目録集成」に収められていて、それを解説したが、E、及びFの「い」より「け」までは家蔵本を参照した。前掲書にAよりEまでの移動が判るように注記が施されているので、B C Dはその注記に

依拠した。Cは日本古典全集の「書目集統」に東大国語研究室所蔵本が収められているので、それを参照した。Dの巻六は藤江峰夫氏所蔵本を参照した。依拠した注記に誤植と思われるものが幾つかあるが、参照本によってこれを訂正した。

一、漢字は印刷を慮つて通用の字に変えることを原則とした。原本が判読できない時にはその部分を□で示した。

一、書肆名の排列は原則として五十音順としたが、止むを得ず乱れた部分もある。

一、異つた名称のものでも、明らかに同一書肆と思われる時は、原則として合せた。その時には項目下の( )に異称を記した。異称を合した場合、項目が離れている時には参照の見出しを立てた。

一、姓或いは屋号のみが記されていて、複数以上の書肆を想定できる場合は、各の姓或いは屋号でまとめておいた。例えば「秋田や」には「秋田や市」「秋田や五郎」「秋田や平」などが混在していることになる。

一、項目の次に、その書肆の正称、姓名、住居などを、「増訂出版者以来書買集覧」(以下「書買集覧」と略称)、「徳川時代出版者集覧」(以下「徳川集覧」と略称)及び筆者の手控えにより

記した。

一、書目に使われている儒書、医書、仮名、仏書、図、石摺、好色本の七分類を採用し、各儒、医、仮、仏、図、石、好の略称を用いる。この分類は書目の尊重したので、儒書に神道書や軍記が収められるなど異和感があるが、まったく便宜的に使用したものである。各分類ごとに書名を五十音順に排列した。

一、書名は概ね書目に記されているものを採用した。ただ、周知の如く「同何々」と記すことがかなりあり、「同」が何を指すのか判断し難い場合には、斯道文庫編の書名索引を参考にしたが、独自の判断を下したところもある。

一、書名の下の一内には次の順序で記述がなされている。

(1)冊数。冊数と見るか、巻数と見るかは異論があるかと思うが、筆者は冊数と見なした。冊数表示がない場合は原本に記載がないと了解して頂きたい。

(2)著作者名。書目に記されているものを、現在の常識からして誤りと思われる場合にも、そのまま記した。

(3)本の値段。AからFまで時代の古い順に値段を記した。

「Fナシ」とあるのは、正徳五年書目に本の記載がないのではなく、飽くまで本の値段の記載が「ナシ」という

ことを意味する。

(4)相板者。▼印の下に相板者名を記す。書目に記されている名を原則として掲げるが、筆者の判断で補うこともある。例えば、「与平次」とある場合には「(寺田)与平次」の如くした。

(5)蔵板者名に移動があった場合には、それを矢印で明示した。例えば、秋田や市の項で(……↑吉田三)とあれば、吉田三から秋田や市に移ったことを示し、逆に(……↓吉田三)とあれば、秋田や市から吉田三へ板木が移ったことを示す。

例を二つ程出すと、「秋田や五郎」の項で、

つれ(草文段抄(七冊、北村季吟、A1C八匁五分、D E10匁五分、Fナシ、▼長尾)

は、冊数が七、著者が北村季吟、元禄九年書目より元禄十一年書目までは値段が八匁五分、宝永三年、宝永六年書目では一〇匁五分、正徳五年書目では値段の記載がなく、相板者は長尾、ということの意味する。「秋田や平」の項で、古文前集大字(三冊、A1C三匁七分、▼秋田五郎、↓丸や源)

は、元禄九年より元禄十一年書目まで三匁七分として載せ

られ、相板者は秋田五郎であったが、宝永三年書目以降は九や源に板木が移ったということの意味する。

ここで注意する必要があるのは、蔵板者名が改められるのは、実際に板木が移動した場合と、誤りを訂正した場合と考えられるが、すべての例についてどちらかを判断するのは無理なので、一応移動の表示をしておく。

#### 付記

前述のように、本名寄は斯道文庫編『江戸時代出版書籍目録集成』に依拠して出来ている。編纂された阿部隆一氏、松本隆信氏に深謝します。

#### 相合

備 四書官板頭書(二二冊、AⅰE五三夕、Fナシ)・四書首書点付(二二冊、惺窩首書・石斉点、AⅰE七五夕、Fナシ)

#### 秋田や(秋田)

備 自知録(一冊、BⅰFナシ)・戦国策(一五冊、緋雲鮎彪、AⅰF三八夕、▼武村)・大明一統志(五〇冊、AⅰEナシ、↓山本長)・通鑑綱目(一一〇冊、司馬温公、AⅰC五〇〇夕、DE六〇〇夕、F七〇〇夕、▼八尾)

備 古今和歌集光悦流(二冊、BⅰFナシ)

仏 阿弥陀経疏記(三冊、BⅰE三夕五分、F四夕五分、▼松本や)・阿弥陀経通贊(三冊、窺基、A三夕五分、↓

丁子半↓八まんや)・水覚広録(交易、AⅰFナシ、▼戸

嶋・風月)・雲棲塔銘(一冊、BⅰFナシ)・群疑論(七冊、懷感禪師、AⅰC四夕五分、DⅰF七夕五分、▼上村)・

五燈全元(二一冊、博山無異僧、AⅰF一両、▼上村)・

浄土策進(一冊、AⅰFナシ)・浄土八祖(二冊、BⅰF

ナシ)・正訛集并直道録(二冊、雲棲、BⅰFナシ)・貞

和集(一〇冊、釈周信、CⅰEナシ、F二二夕)・尼戒録

要(二冊、BⅰFナシ)・仏祖防邪説(一冊、BⅰFナシ)・

六物図考索(二冊、BⅰFナシ)

秋田や市(秋田市・大坂秋田市・大坂秋田や市・秋田一・秋一・

大野木・大野木一)

秋田屋市兵衛、姓大野木、堂号宝文堂、住居大坂安堂寺町心齋橋、

元禄五年刊『万買物調方記』にはこの秋田屋が板元の故か、「歌書絵

双紙」(「書林並古本屋」「唐本屋」「浄るり太夫本屋」と四ヶ所に

載せられ、その上江戸店まで三ヶ所に記されている。元禄十年刊『岡

花万葉記』には「書林物之本屋古本」の項に出て来る。江戸中期の

秋田屋の板本にはよく「宝文堂藏板子額目録」が附されている。十

八点藏板。

儒 伊呂波韻四声(二冊、D E 六夕、F 七夕)・伊呂波韻  
増益(一冊、D E 二夕五分、F 三夕五分)・四書小本(三

冊、C 夕 F 四夕五分)・諸葛孔明(七冊、F 一 一 夕、↑野  
田庄)・中臣祓訓解(二冊、空海、A 夕 E 二夕、F 三夕)・

日記故事(七冊、溫陸張璠、A 夕 F 七夕)・朗詠集徹書記  
(二冊、C 夕 F 五夕)・老子経義解(四冊、釈徳清注、E

F 二夕五分、↑上村次)・老子経口義増補頭書(二冊、尚  
堅、E F 四夕五分、↑上村次)

医 運氣論一言集(四冊、吉田意安、D 夕 F 三夕五分、↑  
中尾一郎)

飯 買物重宝記(A 夕 E 一 夕、F ナシ)・重宝記大全(一  
冊、A 夕 F 二夕)・棠蔭比事(五冊、F 四夕五分、↑松坂

や)・本絵ひながた(三冊、A 夕 F 二夕五分)  
仏 破邪顕正記(五冊、真追、F 八夕)

石 王義之石摺草書(二冊、C 夕 F ナシ)・千字文中字石  
摺(A 夕 F ナシ)

好 好色一代男(八冊、A 夕 E 五夕、F ナシ)  
秋田や五(秋田五郎・秋田五)

秋田屋五郎兵衛、住居は京都「寺町通六角下ル」(「書買集覧」とい  
い、「寺町通盤願寺下ル町」(「徳川集覧」とい、「寺町和泉式部

前」(元禄三年刊「談儀もどり」刊記)というも同じ所であろう。  
七十九点藏板。洞空の著述を多く藏板していた点が注目される。

儒 今川式部卿(一冊、A 夕 E 七分、F ナシ、▼風月)・  
孝経大義(A 夕 C 一 夕、D E 一 夕三分、F ナシ、▼小川)・

五経音注(A 夕 C 一 七夕、D E 一 九夕、F ナシ、▼長尾平  
・小紅や)・古文前集(三冊、A 夕 E 二夕五分、F ナシ、

▼秋田平)・古文前集大字(三冊、A 夕 C 三夕七分、▼秋  
田平)・三体詩音注(三冊、A 夕 F 五夕)・算法改正録(有

益、F 六夕)・算法樞談(四冊、中村政勝、D E 二夕八分、  
F 三夕八分)・算法適等(二冊、F 三夕)・四書小本並無

点(二冊、A 夕 D 二夕、E 二夕五分、↓井上)・判形秘教  
綱目(二冊、A 夕 F ナシ)・朗詠集真草(二冊、A 夕 E 二

夕二分、F 三夕二分)  
医 回春小本(四冊、A 夕 E 七夕、F 九夕)・回春序抄(三

冊、A 夕 E 三夕五分、↑上村平)・回春増補(二冊、A  
夕 F ナシ)・活人心(三冊、函虚子編、A 夕 E 二夕五分、

F 三夕五分)・局方堯揮(一冊、丹溪、A 夕 E 七分、F ナ  
シ)・原病式首書(四冊、岡本為竹、A 夕 F 四夕五分)・

衆方規矩(C 一 夕二分、D E 一 夕五分、二 夕五分、F 二 夕  
五分、▼武村一、↑武村新・小紅や)・食物本草(八冊、

東垣、AⅠF六匁五分)・針道秘訣(二冊、意齊流、AⅠE二匁、F二匁五分)・万病医術(八冊、雲林、AⅠE九匁、Fナシ)  
飯 謡肩書(三冊、AⅠF七匁)・謡觀世当流大成百番(二冊、DE四匁、F五匁)・大原談義ひらかな(二冊、AⅠC一匁三分、DⅠF一匁八分)・歌道名目抄(三冊、F四匁)  
・賢女物語(五冊、AⅠE二匁七分、F三匁七分)・雙搜集(五冊、沢庵、AⅠF六匁五分)・小名よせ(四冊、AⅠF四匁)・糸竹初心(三冊、AⅠF一匁二分)・心学五倫書(一冊、熊沢了斎、AⅠE四分、Fナシ)・心学論評判(五冊、AⅠE三匁五分、F二匁五分)・塵劫記中本(三冊、AⅠCナシ、▼山本長)・井蛙抄(五冊、頓阿、AⅠF五匁五分、▼八尾平)・曾我物語新版(二冊、AⅠC八分、DⅠF一匁二匁、▼長尾)・たから倉(五冊、山岡元隣、AⅠE三匁五分、↓林庄五)・狸状(一冊、AⅠE三分、Fナシ)・玉かゝみ(一冊、以空上人、AⅠE四分、Fナシ)・談義もどり(二冊、洞空、AⅠF二匁五分)・知己往來(二冊、武藤氏書、AⅠF一匁五分)・つれく草文段抄(七冊、北村季吟、AⅠC八匁五分、DE一〇匁五分、Fナシ、▼長尾)・天神本地(二冊、AⅠE八分、

Fナシ)・洞齋曲(三冊、AⅠE一匁二分、F二匁二分)・土佐日記首書(二冊、BⅠE二匁三分、F二匁八分、↑井筒六)・ねごと草(二冊、AⅠE一匁二分、Fナシ)・念仏往生記(一冊、CⅠF一匁、↑村上勘)・霧海南針(一冊、潮音禪師、CⅠF二匁、↑戸嶋惣)・富士野往來(一冊、AⅠF一匁一分)・武者物語(三冊、松田一樂、AⅠE二匁三分、↓村上八)・大和往來(二冊、AⅠE一匁三分、↓風月清)・利休七葺書(六冊、CⅠE四匁、F六匁、↑風月清)・類字名寄(四冊、昌琢作、AⅠF三匁五分)・連歌隨葉集(三冊、AⅠF二匁)・連歌隨葉集大全(八冊、山岡元隣、AⅠE五匁、Fナシ)・連歌天水抄小本(一冊、AⅠF三匁)・牢人状(一冊、AⅠE三分、Fナシ)  
仏 阿弥陀經齋測(一冊、AⅠF二匁五分)・一枚起請骨目抄(二冊、洞空、CⅠE二匁五分、F三匁五分)・因果經(一冊、BⅠFナシ)・円戒弁正(一冊、洞空、AⅠE一匁、Fナシ)・往生機鑑(二冊、洞空、AⅠE一匁二分、F一匁五分)・句双紙四ツ切(AⅠE一匁二分、Fナシ、▼長尾平)・三經文類(一冊、AⅠF一匁七分)・四部録(一冊、AⅠC五分、DⅠF六分、▼中村)・舍利記(一冊、袋中、AⅠE八分、Fナシ)・拾穗書(三冊、羊歩、AⅠ

E二匁、↓井上)・浄土分類抄直解(六冊、了海、AⅠE四匁五分、F七匁五分)・尊号真像銘文(二冊、親鸞、AⅠF二匁八分)・伝通記新板(一五冊、AⅠD一八匁五分、E二二匁五分、F二七匁五分、▼村上)・度人儀(一冊、古林坊、AB一匁一分、CⅠF一匁八分)・女人往生章(一冊、洞空、AⅠE一匁、F一匁五分)・表白集(三冊、解脫、AⅠD二匁、E三匁、↓林九)・末燈抄(二冊、親鸞、AⅠC二匁三分、D未詳、E二匁七分、F三匁)・唯信抄(二冊、聖覚法師、AⅠD二匁五分、E二匁八分、F三匁八分)・楞嚴經義疏新版(一〇冊、AⅠC一〇匁、D二匁、E一五匁、F一八匁)・臨終纂解(二冊、洞空、AⅠE二匁五分、F三匁五分)・六物図採摘(三冊、AⅠF三匁五分)・六門集首書(三冊、AⅠF二匁五分)

石

王義之石摺草書(A B ナシ、↓秋田一)

秋田庄  
仏 八斎戒作法要解(一冊、木食以空、CⅠE一匁八分、F二匁八分)

秋田や清(秋田清・秋清)

秋田屋清兵衛、住居は京都「寺町通錦薬師下ル」(「書真集覽」とい  
う、二十一点藏板。

備 今川大宇(AⅠF四分、▼山本長)・算法一起(五冊、AⅠF四匁五分)

医 格致論片カナ付(一冊、AⅠE二匁五分、F四匁五分、↑井筒六)

飯 観音経和談抄(三冊、AⅠC一匁一分、D一匁三分、E一匁五分、F二匁)・清水物語(二冊、意林庵、AⅠE一匁五分、F二匁五分)・三人法師(二冊、AⅠE八分、Fナシ)・助道要歌(二冊、AⅠF二匁)・錦木(五匁、AⅠE二匁七分、F三匁七分)・女筆文章(一冊、AⅠF二匁)・念仏三心要集(一冊、弁阿、AⅠF一匁)

仏 観音経義疏首書(二冊、CⅠF三匁三分)・五百誓願略経私記(三冊、袋中、AⅠF五匁五分)・五百大願私記(三冊、良定、CⅠFナシ)・三部図経清濁(四冊、AⅠE六匁、F九匁)・浄宗護国編(一冊、F三匁)・浄宗護国編成語考(四冊、F八匁)・念仏子伝抄(三冊、AⅠF三匁)・八斎戒作法(一冊、興正菩薩、AⅠF一匁)・八斎戒作法連珠記(一冊、洞空作、AⅠF二匁五分)・夢中間答(三冊、夢窓国師、AⅠC二匁五分、DⅠF三匁五分)・楞嚴経巻測(一〇冊、CⅠF一五匁、↑戸嶋)

秋田宗

正徳六年刊「本朝怪談故事」を出している京都の秋田屋松兵衛のこ  
とが。

仏 弁財天三部経略疏(四冊、CD四匁、EF六匁、↑村  
上)

秋田や平(秋田平)

秋田屋平左衛門、初代を山本常知という(書買集覧)が、寛文九年  
正月刊「一乗要決」刊記などにその名をみる。住居は京都寺町通円  
福寺前町、「京羽二重」などには載せられていないが、都の錦「元禄  
大平記」巻六にいう書林十哲のうちの「山本」は、この秋田屋のこ  
とと思われる。藏板書は仏書が比較的多いが、時代を考慮すればど  
の分野も偏りなく出版していたといえそうである。鈴木正三及びそ  
の弟子の忠中、それに採宏の著述を数多く藏板している点に注意を  
ひく。百十九点藏板。

儒 韓文(四〇冊、韓退之、AⅠE九〇匁、F一一〇匁)。  
義礼通解(二〇冊、朱子涯、AⅠE五〇匁、F□〇匁)。  
軍鑑秘要抄(五冊、AⅠF六匁五分)・孝学庸(一冊、AⅠE  
一匁、F一匁三分)・古文前集(三冊、AⅠE二匁五分、Fナ  
シ、▼秋田五郎)・古文前集大字(三冊、AⅠC三匁七分、▼  
秋田五郎、↓丸や源)・山海経(七冊、AⅠD一〇匁、E  
F一二匁、▼村上)・算元記(三冊、藤岡茂元、AⅠF二  
匁三分)・三国志(四〇冊、平陽侯相陳寿、AⅠE銀三枚、

F一六〇匁)・三徳抄(二冊、林道春、AⅠFナシ)・四  
書官板大全(二二冊、AⅠE六〇匁、F七〇匁)・七書無  
点(七冊、AⅠFナシ)・草書韻会(二冊、張天錫、AB  
二匁八分、CⅠE三匁八分、F四匁八分)・草書韻会増補(五  
冊、石奇調点、AⅠF二匁)・棠陰比事(三冊、四明桂  
万榮、AⅠF二匁五分)・万姓統譜(八一冊、AⅠF四兩  
一步)・簡海類編(二二冊、AⅠE四三匁、F四八匁)・  
綱年小史(七冊、石奇、AⅠF九匁)・柳文(三六冊、柳  
子厚、AⅠF八〇匁)・朗詠集伝内(二冊、AⅠFナシ)  
・医学綱目(四一冊、樓英、AⅠE銀三枚、F一〇五匁)  
・医学入門(六冊、南豊李先生、AⅠE八匁、F一〇匁)。  
医教正意(四冊、草刈三悦、AⅠF七匁)・雲林神殿(三  
冊、巽廷賢、AⅠE二匁五分、F三匁五分)・回春(四冊、  
巽廷賢綱、AⅠC六匁、DE八匁、F一〇匁、▼ふしみや<sup>(6)</sup>)  
・惠徳方増補(六冊、AⅠE五匁、F六匁)・察病指南抄(三  
冊、AⅠF二匁三分)・纂記鈔(一冊、AⅠF二匁)・詩  
活(一冊、見宜、AⅠF二匁三分)・詩活首書(三冊、A  
ⅠC五匁、D未詳、Eナシ、F五匁)・正温方(五冊、見  
宜、AⅠF二三匁)・小児直決(三冊、錢中氏、AⅠC三  
匁、DⅠF四匁)・万外集仮名(二冊、AⅠE一匁、Fナ



シ)・明医雜著抄(三冊、AⅠF二匁二分)・名医方考(七冊、欽邑異崑、AⅠD九匁、EF一匁)・名医方考總惣(七冊、北山寿庵、AⅠCナシ、DⅠF二七匁)

仮 因果物語(三冊、鈴木昌三、AⅠC二匁五分、DⅠF三匁五分)・おとぎばふこ(一三冊、了意、AⅠC一匁五分、D未詳、EF一〇匁五分)・海上物語(二冊、恵中、AⅠC二匁二分、DⅠF三匁一分)・哥林良材(二冊、一条禪閣兼良公、AⅠD二匁二分、E二匁八分、F三匁八分)・源氏雲隱(九冊、抄ハ浅井松雲、AⅠE八匁、F一〇匁、<sup>(8)</sup>舛や)・源氏小鏡(三冊、紹巴、AⅠF三匁)・しかたばなし(五冊、AⅠF三匁)・十二だん草紙(三冊、AⅠE一匁五分、F二匁五分)・仙洞哥合(一冊、AⅠE一匁、Fナシ)・たが身の上(六冊、山岡元隣、AⅠF五匁)・てうす問答(一冊、AB六分)・土佐日記(一冊、貫之、AⅠD七分、E一匁、F一匁五分)・女筆往来(三冊、AⅠD二匁二分、EF三匁二分)・破吉利支丹(一冊、鈴木正三、AⅠF一匁)・はなしの本(二冊、AⅠF八分)・花づくし(二冊、AⅠE一匁二分、Fナシ)・万民徳用(一冊、鈴木正三、AⅠE四分、F八分)・百人一首五巻抄(AⅠF三匁五分)・藪草分(一冊、鈴木正三、AⅠE七分、

Fナシ)・虫哥合(一冊、長噺、AB八分、↓尾崎)・大和西銘(一冊、AⅠC一匁五分、↓舛や)・連歌匠材集(四冊、紹巴、AⅠF三匁五分)

仏 阿弥陀經義記略記(二冊、智者大師記、恵心撰、AⅠD一匁八分、EF二匁三分)・阿弥陀經私記(三冊、A三匁五分)・阿弥陀經事義問弁(三冊、株宏、AⅠE三匁五分、F四匁五分)・阿弥陀經問持記(一冊、戒度、AⅠD一匁三分、EF一匁八分)・阿弥陀經略解(一冊、呉郡大佐、AⅠD四分、EF七分)・円覚經大疏(六冊、宗密、AⅠF一五匁)・塩味集(三冊、実海、AⅠF二匁五分)・往生論註大沢見聞(五冊、AⅠE五匁五分、F九匁五分)・鎌倉宗要(五冊、沙門良恵、AⅠD四匁五分、EF五匁五分)・觀經楷定記(三六冊、顕意上人、AⅠF六〇匁)・具戒便蒙(一冊、株宏大師、AⅠE一匁五分、F二匁五分)・玄義隨聞(八冊、日遠、AⅠF二匁)・江湖集夾山抄(八冊、AⅠF八匁五分)・五部九巻見聞(六冊、大沢、AⅠE五匁、F七匁)・金剛經略疏(一冊、永覚大師、AⅠE一匁、Fナシ)・金剛經略疏首書(三冊、AⅠF二匁七分)・四十二門(一冊、AⅠFナシ)・性相什慶(三冊、蓮藤坊什慶、AⅠF五匁)・浄土源流章(一冊、凝然、AⅠC一

多三分、D一多六分、E F一多八分)・浄土西山名目(三冊、A一F二多五分)・浄土或問(一冊、天如則禪師、A一D一多三分、E F一多八分)・正法華經(一〇冊、竺護法訳、A一E一〇多、F一五多)・助頭唱導(七冊、日証、B一Fナシ)・諸祖偈(四冊、A四多三分)・禪家龜鑑(一冊、曹溪退隱、A一E七分、Fナシ、▼村上勘左・林久二郎)・選撰集決疑(五冊、良忠、A一D四多、E F四多五分、▼丁子半)・禪門諸祖偈頌(四冊、A一F五多)・草庵雜記(三冊、惠中、A一F五多)・祖英集(二冊、明覚大師、A一F三多)・祖庭鉗錘録(一冊、A一F二多)・大惠書首書(四冊、虚白考、A一C四多三分、D E五多三分、F一多、▼ふや伝)・大惠書点付(A一E二多、F二多五分、▼ふや伝)・大惠書法語(三冊、A一F三多五分)・大經要註記(二四冊、西替、A一E一三多、F一八多)・太白行脚袋(六冊、A一F八多)・竹窓隨筆(六冊、株宏大師、A一E一多、F一二多)・徹隨抄(二冊、西替、A一E七分、Fナシ)・天台類雜(一二冊、A一E一五多、F一九多)・等海口伝抄(一七冊、等海、A一F一三多)・涅槃經会疏(三六冊、湛然円証注、A一E七五多、F八五多)・八祖伝記纂(二冊、直勤、A一F五多)・仏

祖三經(一冊、守遠註、A一C八分、D一Fナシ)・仏祖坊邪説(一冊、惠中、A Bナシ)・碧巖集鈔(一〇冊、王安、A一F一七多)・法界安立(六冊、釈門仁潮、A一E五多、F八多)・反故集(二冊、惠中、A一F三多五分)・法華音義(三冊、書写山快倫、A一F三多五分)・法華論記(一七冊、智証大師、三五多、↓白人)・梵網戒經發隱(七冊、雲棲株宏、A一F一七多)・万徳抄(一冊、A一Fナシ)・無門関春夕(二冊、A一E二多、F二多五分)・龍舒浄土文(六冊、A一E五多五分、F八多五分)・楞嚴經撰象記(三冊、株宏大師、A一F三多三分)・臨濟録夾山鈔(一〇冊、A一E八多一分、F一〇多)・類雜集(一冊、A一F一五多)・鹽鞍橋(六冊、鈴木昌三、A一C四多五分、D一F五多五分)・六物図三ノ抄(三冊、仙祐、A一F二多五分)・論義抄(八冊、講師証願房、問者本観、A一F一三多)

秋田六郎

石 草書韻会石摺(二冊、A一Fナシ)・程陽峰石摺(A一E五多、F七多)・趙墨宝藏(A一Fナシ)

石 子昂石摺(二冊、A一F六多)

淺の(淺ノ)

仏 往生浄土儀儀(二冊、D Fナシ)・明観音経会本疏  
並儀義(六冊、智円、DE八匁、F一〇匁)

浅野久(浅の久)

浅野久兵衛、名は重惟(貞享二年刊「皇明千家詩」、堂号は華嚴堂  
(同書の見返し)。住居は京都「御幸町二条上ル丁(元禄九年刊「日本  
武士鑑)」。仏書中心の本屋と思われる。四十三点藏板。↓いがや久

儒 韻鏡反切指要抄(三冊、隆向寺周海、A F三匁)・  
皇明千家詩(四冊、A E五匁、F七匁)・幼悟家書(五  
冊、A F五匁)・歴代要覧(二冊、毛利虚白、A F二  
匁五分)

仮 頭戒三類抄(一冊、A Fナシ)・諸国旅雀(七冊、

A D三匁八分、E F四匁八分)・百詠詩歌(二冊、C F  
ナシ、↑鈴木太)

仏 阿弥陀経要解<sup>(13)</sup>(二冊、智旭、A C三匁五分)・孟蘭  
盆経新疏(一冊、宗密、A E一匁五分、Fナシ)・鬼子  
母経(二冊、A F二匁五分)・教苑清規(四冊、智円、  
A F六匁)・教戒律義輯解(四冊、輪山遍照院、A B六  
匁五分、↓田原・村上)・玄義格旨(二冊、善月、A F  
三匁五分)・玄義節要(二冊、智旭、A E五匁、Fナシ、  
▼長谷川)・元亨釈書徴考(二六冊、A D一五匁、E F

二〇匁、▼中野五郎)・金鐔論註(一冊、伝教大師、A E  
一匁五分、F二匁五分、▼長谷川)・三大部条ヶ(二冊、  
A E三匁、F四匁)・四教義備釈(二冊、元粹、A E  
三匁五分、F四匁五分、▼日野や半)・四念処(二冊、智  
者大師、A F三匁五分)・釈門正統(八冊、天台沙門宗  
鑑、A E一五匁、F一八匁)・性学開蒙(一冊、智旭、  
A Fナシ)・真海十帖(一〇冊、A Fナシ)・千手行  
法(一冊、智礼、A E一匁五分、Fナシ)・禪門草(三  
冊、A E四匁、F五匁)・僧史略(三冊、贊寧、A F  
五匁)・造像功德経(一冊、提雲訳、A E一匁、Fナシ)・  
大光明藏(八冊、宝雲、A E一〇匁、F一五匁)・涅槃  
経発源機要(四冊、智円、A F六匁)・八要直解(四冊、  
智旭、A F八匁)・八教大意(三冊、草安大師、智者大  
師、A E三匁五分、F五匁、▼中野五郎)・法華経入疏  
(二冊、道王正、C D二七匁、E二九匁、F三五匁)・  
菩薩戒義記(二冊、天台大師、A E三匁五分、F四匁五  
分、▼長谷川)・法華日遠大意(一冊、A F三匁)・梵  
網戒経合註(六冊、智旭、A E八匁、F一〇匁、▼吉村  
吉)・梵網戒経疏(三冊、義寂、A Fナシ)・妙玄格旨  
(二冊、A Fナシ、▼村田)・無生論註(二冊、C F

浅見

二 奴八分、↑丁子や半)・維摩經(三冊、楊起元、AⅠF三 奴五分)・維摩經玄義(六冊、智証大師、AⅠF六 奴)・維摩經私記(三冊、AⅠC三 奴五分、DⅠFナシ)・龍女成仏栴婁記(二冊、CⅠF一 奴二分)・楞伽經義疏(智旭、AⅠE二〇 奴、F三〇 奴、▼長谷川)・楞嚴經文句(二二冊、智旭、AⅠE二〇 奴、F二五 奴)

二 作とも浅見安正の著述であるから、自己蔵板していたのであろう。

新や

儒 靖猷遺言(三冊、浅見安正、AⅠE六 奴、F八 奴)・父母死説(一冊、浅見安正、AⅠE八分、Fナシ)

この屋号の調み方不詳。「シシヤ」(徳川集覽)、"アラヤ" (書買集覽)としていようであるが、筆者は臆測で「アトラシヤ」と調んでいる。

新や十兵(新や十・新十)

儒 神道大意(卜部兼俱、AⅠE八分、Fナシ、▼鈴木)

新屋十兵衛。姓は徳田、住居は京都寺町通竹屋町上ル(書買集覽)。「徳川集覽」が徳田十兵衛とのみ記載されていることを考えると、屋号はあまり刊記に記さなかったのか。筆者は新屋の本は未見。

儒 錦輪段十卷抄(由的、AⅠC一〇 奴、DE一二 奴、F

一七 奴、▼野田弥・吉文じや)・三体詩仁階本(六冊、AⅠFナシ)・四書集註(八冊、文師点、F一二 奴、↑上村)・袖珍異名集(一冊、AⅠD二 奴八分、EF三 奴八分)・神代卷講習次第抄(二五冊、仲之、DⅠF二〇 奴)・節用集半切(一冊、AⅠF一 奴三分)・対類広益(一冊、AⅠC一 奴三分、DE一 奴五分、F二 奴、▼武村三郎)・対類増補(一冊、井里居士、AⅠF一 奴三分、▼武村新)・日本書紀神代卷大字(二冊、AⅠF四 奴)・判尽(二冊、AⅠF二 奴)・民間歳時記(一冊、玄医、AⅠE一 奴三分、F一 奴八分)・名法要集(三冊、AⅠE一 奴八分、F二 奴八分、▼いづみ)

医 三焦心包絡命門弁(一冊、玄医、AⅠE一 奴五分、F二 奴)・薛氏医案(四冊、AⅠD七 奴、E八 奴、F一〇 奴)・全九集半切(AⅠD三 奴五分、EF四 奴五分、▼丁子半)・難経註疏(六冊、名古屋玄医、AⅠE七 奴五分、F八 奴五分)

飯 最明寺百首抄(二冊、AⅠE二 奴五分、F三 奴五分) 仏 山雲海月(三冊、我山、AⅠF四 奴五分)・大燈法語(二冊、AⅠF一 奴)・中峰広録(二冊、門人慈寂、F二〇 奴、↑村上)・中峰広録首書(二〇冊、阿波南山和尚、

F四〇夕、↑村上)・布薩式返破論(四冊、沙門輪超、A  
↓F五夕五分)・仏祖三経注解(二冊、智旭、A↓E三夕  
五分、F二夕五分)・六方礼経和調(二冊、A↓Fナシ)

### 新や平次

新屋平治郎(元禄十五年刊「新統歌仙」)。京都なるも所在地未詳。

飯 歌仙新統(一冊、C↓F二夕)

### 油や与(油や)

油屋与兵衛。住居は大坂高麗橋西(元禄十年刊「国花万葉記」刊記)、高  
麗橋筋豆菜町(享保十年刊「冥加調」)。

儒 和州諸將軍伝(一二冊、Fナシ)

飯 式目堀流水ノ(二冊、A↓E二夕、Fナシ)・庭訓往

来堀流水(二冊、A↓D二夕五分、E二夕八分、F三夕八

分)

仏 円光大師実録(一五冊、実叟、C↓F一八夕)・円光

大師別伝(三冊、A↓F四夕)

### 新井

新井弥兵衛。堂号は英松堂(書賈集覽)。住居は京都京極通五条橋

詰町(宝水四年刊「渚の五」)とも京極通五条上ル町(正徳六年刊

「秋夜長物語」)とも記す

医 師語録小本(一冊、Eナシ、F四夕)

飯 なぎさの玉(五冊、EF五夕五分)・誹諧晚山集(二  
冊、F四夕)

### 荒川

儒 三京一奇集(二冊、A↓E一夕五分、F三夕五分)・

四書考異(四冊、F六夕、↑風月清)・文章達徳録(一〇

冊、A↓F一二夕)

飯 ほり川狂歌(三冊、A↓F三夕五分)・下掛外枕風(五

冊、DE一三夕、F一六夕)・謠名寄(二冊、A↓F一夕  
六分)

### 荒川三郎(荒川三)

荒川三郎兵衛。京都(徳川集覧)。

儒 韻鏡相伝書(二冊、小亀氏、A↓E一夕、F一夕八分)・

韻鏡名乗手鑑(一冊、A↓E八分、F一夕五分)・將軍記

(一五冊、松雲誌、A↓F一八夕)・中華歴代紀略(三冊、

春齋、A↓D五夕)・名乗手鑑(二冊、A↓E一夕二分、

Fナシ)・歴代紀略(三冊、林道春、A↓D五夕、EF六  
夕)

飯 下懸謡外百番(一〇〇番、A↓D二夕、E一四夕、

F一八夕)・下懸謡四つ切(一〇〇番、A↓D二夕、E

一四夕、F一八夕)

仏 無量寿仏讃註補遺(二冊、泉涌沙門照周、AⅠF三夕二分)・本願寺系図(三冊、AⅠE一夕、F一夕五分)

荒川四郎(荒川四)

荒川四郎左衛門。京都。万治二年に「性理字義諺解」孔子聖蹟図説を刊行しているが、いずれも林羅山の著述である。羅山の妻の実家が荒川氏で、妻の兄弟が書肆荒川宗長と思われる。四郎左衛門は宗長の通称か。宗長は林春齋の時代には、やはり林家一族の林和泉掾とともに林家関係の書を盛んに出版している。

飯 御参内記(二冊、A Bナシ、↓きくや七)・此比草(四冊、AⅠEナシ、↓林正)

荒木利

荒木利兵衛。住居は京都寺町通(書買集覽)。明暦、万治頃に活躍しているが、本書目当時はあまり振るわなかったようである。

儒 因掃算(二冊、今村知高、AⅠF二夕)・老子経無垢子

註(五冊、張無尽註、A B六夕、↓金や一)

仏 枯木集(一冊、仏通禪師、AⅠFナシ)

井金や庄↓雁金や庄

いがや

仏 止観撮要(二冊、Fナシ)・淨信堂答文(一冊、智旭、

F二夕八分)・心経発隱首書(一冊、Fナシ)・法華会義

(二〇冊、F三五夕、↑弁天譚)・無量寿仏讃註祥釈(二

冊、正亮、F三夕五分、↑ナシ↑村田)

いがや久

伊賀屋久兵衛。住居は京都御幸町(元禄五年刊「新編徳年代皇紀繪章」)。天和二年刊「大和名所記」刊記に浅野久兵衛が名を運わっており、浅野の住居も御幸町二条上ル丁であるから、恐らく浅野の屋号が伊賀屋なのであろう。↓浅野久兵衛。

飯 大和名所記(一二冊、AⅠD一七夕、E F一九夕)

仏 阿弥陀経句解(一冊、沙門性澄、AⅠFナシ)・光明

真言直解(三冊、文心、AⅠF三夕五分)

池田や(いけだや)

ほとんどが後述の池田屋三郎右衛門のことかと察せられるが、「池田や加」が一例あるために一応分けておく。

儒 泣血余摘(二冊、林春齋、AⅠF二夕)・金玉和襟(一

冊、CⅠE一夕、Fナシ)・源平太平記評判(一七冊、A

ⅠE一八夕、F二三夕)・算法発揮(二冊、F三夕五分)・

朱書說尊孟弁(三冊、AⅠE四夕三分、F五夕三分)・城

山八景詩(二冊、DⅠF二夕)・諸家家業(一冊、AⅠE

一夕二分、F一夕七分)・神道和顯抄(二冊、卜部兼俱、

AⅠE一夕七分、F二夕七分)・説文(五冊、AⅠE五夕

五分、Fナシ)

医 諸家脈位考(一冊、AⅠE一夕二分、Fナシ)・神応

本経(一冊、A 1 E 一匁、F ナシ)・針灸抜粹(五冊、A 1 C 二匁八分、D 三匁、E F 三匁五分)・針灸抜粹大成(七冊、幽閑、D 五匁、E F 五匁五分)・丹溪纂要(六冊、A 1 E 六匁、F ナシ)・中藏経(四冊、華陀、A 1 F 四匁五分)・難経本義大鈔(二七冊、森本昌教、A 1 E 三五匁、F 三九匁)

飯 賀茂皇太神宮記(一冊、C 1 F ナシ)・光流四墨(二冊、A 1 E 二匁、F ナシ)・古今和歌集首書(六冊、西道知、A 1 E 五匁、F 六匁)・職人尽哥合(三冊、A 1 E 二匁三分、F 三匁三分)・新可笑記(五冊、A 1 E 三匁五分、F 五匁五分)・新古今頭書(五冊、A 1 F 五匁)・徹書記物語(二冊、A 1 E 一匁五分、F 二匁五分)・甘不孝(二冊、C 1 F 三匁)・武家一統志(三冊、A 1 E 一匁五分、F 二匁五分)・武家百人一首(二冊、A 1 F 二匁)・武道伝来(八冊、A 1 E 五匁、F 七匁)・万葉集抄(三〇冊、季吟、F 八五匁、↑北村)

仏 国阿上人光英問答(二冊、A 1 E 一匁八分、F 二匁八分)・選振集首書(五冊、A 1 D 三匁五分、E F 四匁五分)・禅林証語(四冊、永覚、C 1 F 四匁五分)・大応法語(二冊、C 1 F 八分、↑中野吉)

好 好色一代女(五冊、A 1 E 三匁五分、F ナシ)

池田や加

医 外科指南(五冊、C 1 F 四匁)

池田や三郎右(池田や三郎・池田や三)

池田屋三郎右衛門。姓は岡田。住居は大坂呉服町真齋橋筋八丁目(天和三年刊「女諸礼集」)。「万買物調方記」には「書林並古本屋」の中に「ふし見町 池田や三郎右衛門」とあり、「国花万葉記」にも同様の記事がある。いわずと知れた西鶴本の有力な板元の一人であり、都の錦「元禄大平記」巻三に登場する池野屋三郎右衛門は池田屋のことという。↓池田や。

儒 円機詩集(一冊、A 1 E 一匁二分、F ナシ)・官位不審問答(二冊、A B 二匁一分、C 1 F 二匁)・詩仙図像(一冊、A 1 E 一匁一分、F ナシ)・神道了簡抄(二冊、A 1 F ナシ)・大学童子訓(二冊、A 1 F 二匁五分)・杜詩絶句(三冊、A 1 E 三匁、F 四匁)・本朝選史(二冊、A 1 E 二匁五分、F 三匁五分)・本朝列仙伝(四冊、A 1 E 三匁五分、F 五匁)

飯 法花初心成仏抄(五冊、A 1 E 四匁、F ナシ)・堀川艶書合(三冊、A 1 E 一匁七分、F ナシ)・大和物語首書(五冊、一花堂、A 1 F 四匁五分)

石 絶句石摺(三冊、A 1 E 五匁、F 八匁)・千字文手本

(AⅠE一匁三分、F二匁三分)・千字文ハフ字(AⅠE五匁、F八匁)・百家姓石摺<sup>(15)</sup>(董其昌、AⅠFナシ)

好 好色二代男(八冊、AⅠE四匁五分、Fナシ)

### 石田藤九(石田藤)

屋号、通称、住居未詳。元禄八年刊「文中子中説」には「修文堂石田鴻鈞」とある由(長沢規矩也氏「和刻本漢籍分類目録」)。

儒 文中子(四冊、AⅠD五匁、E六匁、F八匁)・和漢年代記九卷(AⅠD八匁、▼文台や、↓万や庄・文台や)

医 病機撮要(一冊、AⅠF一匁一分)

### いづ、

仮 徒然草小本(二冊、F四匁、↑中野太郎)・夫木集抜

書小本(二冊、F四匁五分、↑(寺田)与平次)

### 井筒や勘

井筒屋勘兵衛、京都(「総屋文庫連歌俳諧書目録」)。

仮 俳諧指南(一冊、駿水、CⅠF二匁三分)

### 井筒や九(井筒九・井筒九郎)

井筒屋九郎兵衛。住居は京都二条(元禄十年刊「燦聚園宝記」)。林家関係の書をかなり蔵板しているが、開板したのではなく板木を取得したことによる。三十二点蔵板。

儒 韻鏡開盒(六冊、自等庵宥朔、AⅠC四匁、DE五匁、

F七匁、▼中野小左)・錦繡段(天隱、AⅠC一匁、DE一匁五分、Fナシ、▼山本長・小川太)・孝経首書(一冊、杜宗之、AⅠC一匁、DE一匁二分、▼鈴木太、↓鈴木太)。

孔子聖跡図諺解(二冊、AB二匁、↓梅村)・五経道春点

(AⅠC一五匁、DE一七匁、Fナシ、▼吉田・中村)・

儒門思門録(四冊、林道春、AⅠE五匁五分、F七匁五分)。

春秋公羊伝(七冊、AⅠE一五匁、F二〇匁)・春秋穀梁

伝(七冊、AⅠFナシ)・小学小本(二冊、AB二匁五分、

↓柏や四)・貞観政要諺解(九冊、林道春、AⅠEナシ、

↓永□)・書籍考(二冊、<sup>(16)</sup>林道春、AⅠE一匁五分、Fナ

シ)・童蒙字尽かな(二冊、AB一匁二分、↓藤や伝)・

日本事跡考(二冊、林春斎、AⅠE一匁、↓万二(万や一)・

梅洞文集(一六冊、林春信、AⅠF三〇匁)・和漢年代記

絵抄(七冊、AⅠD四匁五分、▼吉野二郎、↓吉野二郎・

いづみ丸)

医 和名集(二冊、AⅠE八分、Fナシ)

仮 犬追物語(二冊、林春斎、AB一匁五分、↓中村字)。

犬百人一首(二冊、幽双庵、AB一匁五分、↓金や市)・

花壇綱目(三冊、AⅠD一匁八分、E二匁五分、Fナシ)。

古今榮雅抄(一六冊、AⅠC二五匁、↓伏見や)・長明方



丈記抄(三冊、磐斎、AⅠF二匁五分)・奈良名所記(一〇冊、AⅠF一匁)・花見の記(一冊、宇津宮由的、AⅠF七分)・義貞軍記(一冊、AⅠF一匁三分)・類字仮名遣(七冊、春齋、AⅠE三匁五分、F四匁五分)

仏 恩重経抄(二冊、亮典述、AⅠE二匁三分、F一匁八分、▼中野小左)・選択集口筆(一冊、西督、AⅠE九分、Fナシ)・太子伝仮名絵入(一〇冊、AⅠC九匁、DE一六匁、F一八匁、▼上村)・八斎戒作法首書(一冊、AⅠE一匁二分、F一匁八分、▼村上源)・碧巖集古抄(一〇冊、大灯国師、AⅠF二〇匁)・六斎精進功德経料要解(二冊、一丙、AⅠFナシ)

好 好色大神楽(五冊、AB二匁三分、↓金や一)  
井筒や庄兵へ(いづ、や庄・井筒庄)

井筒屋庄兵衛。姓は筒井、名は重勝、阿難軒、唄風と号す。住居は京都寺町二条上ル町。延宝六年刊「京雀野追」に「俳諧本や井筒且三つ物所 寺丁二条上ル丁」とある如く、専ら俳書を出版していた書肆である。元禄五年刊「俳諧書籍目録」の著述がある。本書目には俳書がほとんど載せられていないので、蔵板点数が少なくなっている。浮世草子の出版には元禄八年刊「浪花田鶴」、宝水四年刊「昼夜用心記」があることを参考までに記す。

飯 一休諸国はなし(五冊、AⅠF二匁七分)・謡十四経

(一冊、AⅠE三分、Fナシ)・恩重経を抄(六冊、DE四匁五分、F五匁五分)・古今将葵園象(一冊、鷺水、CⅠE八分、Fナシ)・俳諧糸屑(五冊、DE五匁五分、F六匁五分)・俳諧糸屑増注(八冊、鷺水、DⅠF八匁)・俳諧書籍目録(二冊、AⅠE二匁五分)・俳諧三物揃(一冊、AⅠEナシ)・俳諧よせがき諸抄大成(一冊、AⅠF二匁三分)・俳林良材(三冊、鷺水、C三匁五分、D未詳、EF二匁五分)・堀川水(八冊、AⅠF七匁)・松の落葉(五冊、DⅠF六匁)・松の葉(五冊、DⅠF六匁)・万葉かな遣(一冊、鷺水、CⅠE二匁三分、▼風月一、↓大坂)

井筒や伝(井筒伝・井づ、や伝・井筒伝右)

井筒屋庄兵衛、姓は小篠、名は正昭、住居は京都室町三条御會町、貞享四年刊「和漢歴代備考」。

備 書翰初学抄(一冊、AⅠC二匁七分、DE二匁二分、F二匁八分)・内閣字府純粋抄(七冊、AⅠF六匁五分)・大唐年代記(二冊、三宅帯刀、AⅠF一匁二匁、▼(寺田)与平次)・和漢歴代備考(一〇冊、三宅帯刀、AⅠE二匁、F一八匁、▼寺田与平)

飯 諸国百物語評判(五冊、AⅠE三匁五分、F四匁五分)

仏 梵網戒經首書古述(四冊、AⅠE五匁五分、F七匁五分)  
分)

好 好色とのる袋(二冊、AⅠE一匁三分、Fナシ)  
いづ、や八左↓山本八左(「いづみや」の誤りならん)

井筒平

井筒屋平左衛門、京都(「徳川集覽」)。

偶 新語園(一〇冊、了意、AⅠC一〇匁、D一一匁、E  
一二匁、F一五匁、▼金や半)

仮 百物語評判(五冊、AⅠF三匁五分)

仏 西方要決略注(二冊、CⅠE二匁八分、F三匁八分、

↑戸嶋)・選択集科注(九冊、<sup>(18)</sup>円智、AⅠFナシ)

井筒六(井六・いづ、や六)

承応二年刊「浄土迷聞口伝切紙」、延宝二年刊「御成敗式目」、延宝三年刊「はなび草大全綱目」、延宝七年刊「駭原抄」の所見本、いづれも居所を明らかにせぬが、「書買集覽」には「京都二条通懸屋町西入」以下二ヶ所を記す。四十五点藏版。

偶 三体詩(三冊、高安釈円至天注・東嘉斐康季昌増注、  
AⅠFナシ、▼万や喜)・小学句読(四冊、C四匁、DⅠ  
F五匁、↑小紅や)・職原抄新板改正(二冊、AⅠD三匁、  
EF四匁)・助語辞広益(六冊、AⅠE五匁五分、F六匁

五分)・千字文大全(四冊、AⅠC五匁、D六匁、E六匁五分、↓林久)・千字文廿体(一冊、AⅠD一匁二分、E  
F一匁八分)・剪燈新話(四冊、留宗吉、AⅠD五匁、E  
六匁、↓林正)・杜律音註(六冊、AB七匁、▼西村一郎  
右、↓風月一・西村一)・日本書紀神代卷新版(松下見林  
校正、AⅠD三匁五分、▼丸や源・西村一郎・大文じや、  
↓丸や源・西村一郎・大文じや)・日本書紀神代卷中字(A  
ⅠD二匁五分、▼丸や源・西村一郎・大文じや、↓丸や源・  
西村一郎・大文じや)・蒙求鈔(一〇冊、AⅠF一〇匁)・  
和玉篇画引(AⅠC一匁八分、DE二匁八分、F三匁八分、  
▼舛や・風月市)・和玉篇首書(AⅠE三匁五分、F四匁、  
▼長谷川・風月市)

医 異名製齊記(六冊、AⅠE四匁五分、F五匁五分)・  
格致論片カナ付(一冊、AB二匁五分、↓秋田清)・家伝  
預薬集増補(七冊、AⅠD四匁五分、EF六匁五分)・十  
四経頭書(二冊、東庵、AⅠC二匁、DⅠF三匁)・聖劫  
方増補(四冊、AB三匁、↓中野小)・鍼書(一冊、AB  
六分)・薬性新製齊記(五冊、AⅠF五匁)

仮 江戸往来無点(一冊、AⅠF二匁)・訓蒙図彙(八冊、  
AⅠE六匁、Fナシ、▼水田潤)・訓蒙図彙首書(AⅠF

八匁、▼舛五・永田調）・光悦手本（一冊、AⅠE二匁、Fナシ）・土佐日記首書（二冊、AB二匁三分、↓秋田五）・奈良懸謡（AⅠC二二匁、D二五匁、E二七匁、F三二匁、▼吉野徳）・奈良懸謡外（二〇〇番、AⅠD二六匁、E二八匁、F三三匁、▼吉野徳）・はなひ草大全（一冊、AB一匁）・はなひ草大全綱目（一冊、小川景三、AB一匁、CⅠE一匁三分、Fナシ）・むくひばなし（五冊、AⅠF二匁七分）・礼式書調集（五冊、AB三匁五分、↓永原利仏 大原談義（一冊、聖覚編、AⅠC五分、DE八分、Fナシ）・虚堂録首書（一〇冊、祖蘭、AⅠE一五匁、F二〇匁、▼永田）・愚迷発心集首書（一冊、AⅠC七分、DE九分、Fナシ）・三心私記（一冊、良意、AⅠE一匁五分、Fナシ）・三部図経私記（三冊、法然上人、AⅠC三分、DE三匁五分、F四匁五分）・述問口決抄並見聞（五冊、了暁作・抄ハ了替、AⅠE五匁五分、↓林久）・浄土略名目見聞（二冊、AⅠD一匁七分、E二匁七分、Fナシ、▼ふや仁）・浄土名目図（一冊、源空上人説・聖覚法印記・了替図、AⅠE五分、Fナシ、▼ふや仁）・心経節要（一冊、無念居士、AⅠE一匁、Fナシ）・西谷名目標条新板（四冊、AB五匁、↓栗山宇）・博山録（二冊、交易、A

B二匁五分、中村宇）・楞嚴経義疏（一〇冊、長水、AⅠC九匁、DE一一匁、Fナシ、▼ふや仁）

石 懷素自叙帖（AB二匁、↓林久）

好 和国忍びね（二冊、AB一匁二分、↓立入）

泉

飯 武道伝来新編（六冊、DE五匁、F七匁）

いづみ（和泉・泉）↓いづも寺

泉ノ勤兵へ（いづみノ勘）

儒 孝経カナ付（一冊、AⅠFナシ）・周易筮儀伝略（二冊、AⅠF三匁）

仏 三教指帰刷補聞書（三冊、AB三匁二分、CⅠF二匁二分）

いづみや

いづみや

いづみや

儒 詩学桂林鈔（五冊、DE四匁五分、Fナシ）・神社考（一冊、林道春、F一匁七分、↑永田調）・性理字義鈔（九冊、林道春、F一〇匁五分、↑山口忠）・八卦能生問答（二冊、DⅠF二匁、↑水田甚）・文徳実録（五冊、昭宣公、F一〇匁）

いづみや江戸

和泉屋市兵衛、江戸芝神明町（元禄十年刊「芝山全稿」）、「書買集

寛)に山中氏、甘泉堂とあるも、元禄年間の市兵衛にもあてはまる  
か否かは未詳。なお、「江戸」なる項目にも市兵衛の蔵板書が入って  
いるかもしれない。

儒 適從録(二冊、CⅠF一匁五分)

いづみ九

儒 和漢年代記絵抄(五冊、E F四匁五分、▼吉野二郎、

↑吉野二郎・井筒九)

いづみや十

儒 軍法師鑑鈔(九冊、作雲、AⅠF二匁)

いづみや茂(泉や茂)

和泉屋茂兵衛。姓は山口。楊文軒(「香買集覽」)。住居は京都二条通  
富小路通東江入町(享保三年刊「新增韻鏡易解大全」)。

儒 韻鏡易解(六冊、武州盛典、AⅠD五匁、E六匁、F

八匁五分)・韻鏡問答抄(四冊、湯浅加右衛門、AⅠD五

匁、E六匁)・四書説書印(三冊、鼎世調作、AⅠF四匁

五分)・説書諳心論(一冊、AⅠF一匁)

医 傷寒衆方規矩(六冊、玄治、AⅠE五匁、F六匁)

飯 伊勢物語大成(三冊、CⅠF二匁五分、▼吉田三郎)・

新曲唱歌(一冊、浅利檢校、CⅠF一匁七分)・題目和談

抄(三冊、CⅠF二匁)・茶道独り漕(二冊、元閑、DⅠ

F三匁五分)・茶湯評林(九冊、遠藤元閑作、CⅠF八匁)・

茶湯流伝(六冊、遠藤元閑、AⅠE六匁、F八匁)・茶湯

六宗匠伝記(五冊、元閑、DⅠF六匁)・千代百人一首(一

冊、DⅠF二匁一分)・妙薬集(一冊、益田良繼、AⅠE

三分、Fナシ)

仏 孟蘭盆経折中疏(一冊、靈苑、AⅠFナシ)・太子伝

片カナ(二冊、AⅠE一匁八分、F二匁八分)

いづも寺(林和泉・林泉・林いづみ・いづみ・和泉・泉)

出雲寺和泉掾。姓は林。堂号は松栢堂(寛文二年刊「職原鈔別勘」)。

初代は時元(明暦元年刊「唯一神道名法要集」)、宝永・正徳・享保

頃(元丘(宝永五年板「歌林草分衣」という。住居は洛陽今出川)承

応二年刊「法華普義」)、洛陽小川(寛文九年刊「本朝詩英」、京師

三条通外屋町(享保元年板「文安詩歌合」)、江戸の出店は日本橋通

一丁目(元禄十五年刊「和歌古語深秘抄」)。受領は承応頃と思われ

るが、寛文十三年刊「居家必要事類全集」には「林前和泉掾白水」

とある。これ以後十年程和泉掾が開板した手持の例がないので判然

としないが、間もなく再受領したと思われる。出雲寺を名乗るのは

元禄後期(元禄十三年刊「百首部類」と考えられ、元禄前期以前に

「出雲寺和泉掾」とあるのは求板本と考えてはは間違いない。「書

買集覽」によれば、林羅山と親戚の由、荒川宗長とともに林家関係  
者の書を多く出版しており、林家にも書物屋として度々出入りして  
いる。貞享二年刊「京羽三重」に「歌書所并絵草紙」の項に「小川

通一条下ル可、「書物屋」の項に「小川一条上ル丁」とある。「万  
買物調方記」にも同様の記述があるが、住居は両項とも「小川一条下  
ル」である。「国花万葉記」には「歌書所」の項に「小川一条下」  
「物之本屋」の項に「三条中ノ町」とある。なお貞享四年刊「江戸  
麗子」には「書本屋」「書物屋」両項に「京橋南三丁目 林文造」と  
ある。これが江戸の出店と思われる。蔵板百点。僞書と仮名とり  
わけ和歌関係が多く、仏書が極めて少ない。

僞 延喜式(五〇冊、AⅠEナシ、F二二〇分)・延喜式  
神名帳小本(三冊、AⅠE三分、F四分)・奥羽軍記(四  
冊、春齊・了的、AⅠE五分、F六分)・居家必用(二〇  
冊、唐円沙明、AⅠEナシ、F四五分)・公家要覧(一冊、  
F二二分、↑吉田三郎)・公家要覧名目抄(一冊、AⅠ  
F二分五分)・軍鑑大全(三九冊、北峰平太夫、F六五分、  
↑丸や彦↑亀や半)・孝経講章鈔(六冊、小出榮庵、F九  
分、↑上村)・後漢書(六一冊、范曄編、AⅠE一六〇分、  
F二二〇分、▼吉田)・古文後集録入(三冊、AⅠF四分  
五分)・古文真宝小本<sup>前集</sup>(二冊、AⅠE二分五分、F四分  
五分)・山州名跡志(二五冊、白慧、F銀一枚)・四時幽  
賞(二冊、野間三竹、AⅠF四分三分)・史館茗話(一冊、  
AⅠE二分五分、F三分)・四書直解(二〇冊、AⅠE五  
〇分、F六〇分)・四書集註林家点(CⅠFナシ)・詩仙

(一冊、石川丈山、AⅠF一分五分)・七十二候(五冊、  
迪齋道允、AⅠE七分、F九分)・二程類語(一〇冊、澄  
海唐伯元、AⅠE三分、F一分八分)・周易本義(八冊、  
林家改正、AⅠF五分)・儒仙(一冊、石川丈山、AⅠ  
F一分五分)・職原抄小本(二冊、AⅠE二分、F二分五  
分)・職原抄別勘(三冊、立野春節、AⅠE四分、F五分)・  
新撰姓氏録小本(一冊、AⅠFナシ)・神相全篇(三冊、  
F五分、↑格や)・清猷茶話(二冊、AB四分五分、CⅠ  
E二分五分、F三分五分)・前漢書(五〇冊、漢班固、A  
ⅠE銀三枚、F一六〇分)・普隣国宝記(三冊、AⅠF  
六分)・桑華紀年(五冊、野間三竹、AⅠF七分)・田辺  
府志(六冊、Fナシ)・通俗南北朝軍談(一八冊、DE一  
六分、Fナシ)・通俗北魏軍談(二三冊、一鴉、DE二八  
分、Fナシ)・帝範並臣軌(四冊、AⅠF五分)・東国通  
鑑(五七冊、林春齊、AⅠF銀一〇枚)・唐詩絶句(三冊、  
昌甫精選伸正、AⅠE四分、F五分)・東坡詩集集註(二  
七冊、AⅠD銀一枚、E五分、F六〇分)・日本書紀統(四  
〇冊、菅野真道・藤原繼繩、AⅠF一両、▼野田弥)・日  
本書紀統後紀(二〇冊、藤原良房、AⅠC四分八分、DE四  
二分、F四分八分、▼野田弥)・梅花心易(一冊、郎康節、

F 一匁七分、↑前川茂)・白氏文集(三五冊、白樂天、A  
↓E六〇匁、F七〇匁)・百將伝抄(七冊、林道春、F一  
二匁、↑柊や)・本朝稽古編(五冊、林道春、A↓E五匁、  
F七匁)・本朝語園(一二冊、D↓F一五匁)・本朝詩英  
(五冊、野間三竹、A↓E六匁、F七匁)・本朝字府伝(六  
冊、因南、F八匁五分)・名法要集(三冊、A↓E一匁八  
分、F二匁八分、▼新や十)

医 運氣論句解(五冊、石齊、A↓F六匁)・眼目明鑑(六  
冊、杏林庵医生識、E四匁五分、F五匁五分、↑水田)・  
素門異注(四冊、F二五匁、↑吉村吉)

飯 十六夜日記(二冊、阿仏、A↓E二匁、F二匁五分)・  
宇治拾遺(一六冊、源隆国、A↓F二五匁)・謡外親世流  
(A↓E二〇匁、F三〇匁、▼野田弥・錢や義)・謡三百  
番外(一〇〇番、A↓Fナシ)・謡二百番外小本(一〇〇  
番、A↓E二七匁、F三〇匁)・うつは物語(三冊、源順、  
A↓F三匁五分)・栄花物語(二一冊、赤染衛門、A↓F  
銀一枚)・歌仙新統(一冊、AB一匁、↓新や平次)・歌  
仙統(一冊、A↓F一匁一分)・二月物語(二冊、C↓F  
二匁五分)・兼好家集(二冊、A↓F四匁五分)・源氏物  
語紹巴抄(二〇冊、A↓F四〇匁)・源氏物語半切(三〇

冊、A↓E銀一枚、F五〇匁)・源氏物語并引抄(一五冊、  
一花堂、A↓F三〇匁)・源氏物語明星鈔(二〇冊、三光  
院、A↓F四〇匁)・古今集韻注密勘(八冊、定家・顯昭、  
A↓E一匁、F一三匁)・三体和歌(二冊、A↓F二匁)・  
三流消息(三冊、定家・近衛・光悅、C↓E四匁五分、F  
八匁五分)・下懸謡仕舞付(一〇〇番、A↓E銀一枚、F  
五〇匁)・釈教歌仙(一冊、僧正榮海、A↓F一匁)・袖  
珍歌枕名寄(八冊、F一六匁、↑越中や善左衛門)・職人  
歌仙(一冊、光広卿、A↓F一匁)・新女歌仙(一冊、A  
↓F一匁)・新歌仙(二冊、A↓F一匁)・新百人一首(二  
冊、A↓F二匁三分)・杉やうじ(六冊、A↓F六匁)・  
太閤記(二三冊、小瀬甫庵、A↓C一五匁、DE一八匁、  
F二五匁、▼の田)<sup>(2)</sup>・太閤記枕本(一一冊、F二五匁、▼  
の田)・徒然草まゝ入(A↓F三匁五分)・つれづれ草金槌  
(一二冊、西道知、A↓F二匁、▼よしだ)・定家家隆  
歌合(二冊、A↓E三匁、F四匁)・仁勢物語(二冊、A  
↓E一匁五分、F二匁五分)・耳底記中本(三冊、A↓E  
二匁七分、F三匁七分)・能仕舞手引(七冊、C↓F八匁)・  
武仙(一冊、林道春、A↓F一匁五分)・法花要文和歌(四  
冊、本能寺日与、A↓Fナシ)・堀川次郎百首(三冊、A

いFナシ)・正木のかつら(七冊、DいF五匁)・万葉集(二〇冊、橘諸兄公撰・源順点、F四三匁、↑上村↑安田十)・水無瀬歌合(二冊、判者俊成、AいE四匁三分、F四匁八分)・頼政家集(二冊、AいF四匁五分)・和歌雜塵抄(五冊、F二〇匁)・和歌無底抄(一〇冊、AいD一二匁、EF一五匁)・和歌類題集(三〇冊、御製、DいF一〇五匁)・和歌六部抄(六冊、AいC七匁五分、DいF六匁五分)

仏 往生十因首書(四冊、F四匁五分、↑丁子長)・普勸集(一冊、丹後桂林靈重録・弟子靈軫輯、DいFナシ)・俱舍論頭書(一四冊、F六〇匁、▼三木)・七帖見聞(一三冊、貞準、AいD一八匁、EF三三匁、▼村上)・正語宗派(六冊、了籠寺篇易、AいE九匁、F一〇匁)・法華和五記(四冊、AいF八匁)

伊勢讀(いせかう中・いせかう)

禪宗系のものがほとんどである。四、五点は実際に刊記をみると、中野市右衛門の名が刻されている。

儒 武経開宗(一四冊、首書昌庵、AいD二五匁、E二八匁、F三〇匁)・略韻広益(八冊、AいF三五匁)

医 千金方(三三冊、AいFナシ)

仏 永覚録(一六冊、道順編、AいF一七匁)・永覚録首書(一六冊、AいE二八匁、F三五匁)・円覚経御註(二冊、AいF二匁七分)・弘釈録(四冊、AいFナシ)・弘釈録(二冊、永覚、AいF三匁五分)・宗鏡録(五〇冊、永明智覚、AいD銀二枚、E一〇〇匁、F二〇匁)・禅義外文(二冊、虎関、AいC三匁五分、DE四匁五分、F五匁五分)・禅林拔類聚(四冊、洛東高台寺ニテ撰出、AいE六匁、Fナシ)・曹洞五位抄(四冊、CいF四匁)・天童如浄録(四冊、AいF一二匁)・人天眼目(三冊、越山晦照禪師、AいD三匁五分、EF四匁五分)・人天眼目抄(六冊、AいD六匁五分、EF八匁五分)・万松録(一八冊、AいE二五匁、F三五匁)・万松録從容録抄(一五冊、肥前宗融、AいF二五匁)・万松録首書(一六冊、水戸交易、AいE三五匁、F五五匁)・半陶藥(六冊、興彦龍、AいC八匁、D一〇匁、EF一二匁)・扶桑再吟(四冊、AいE四匁、F五匁)・仏法金湯録(三冊、四明湯荷、AいE三匁、Fナシ)・仏法金湯録首書(三冊、AいD四匁、E五匁、F七匁)・碧巖集新版(五冊、AいE一二匁、F一九匁)・法海具観(一九冊、梅嶺、CいE三〇匁、F三八匁)・梵網戒経古述抄(八冊、AいE一〇匁、F一二匁)。

龍泉録(三冊、如瑛編、AⅠE五匁、F七匁)・林簡録(二冊、洪覺範述、AⅠC三匁五分、DⅠF四匁五分)

注

(1) 「算法改正録」「算法通等」の位置が上段の板元名の部分とずれていて、はっきりとしないが、一応両書とも「秋田や五」の藏板と判断しておく。

(2) 値段が二種記されている。

(3) Aのみ四冊とする。

(4) CⅠFに「井两点」が加えられている。

(5) Aのみ一〇〇冊とする。

(6) AⅠCは「秋田平」の単独とし、DⅠFは相板とする。

(7) Aのみ六冊とする。

(8) Aのみ単独とし、BⅠFは相板とする。

(9) BⅠFは「阿弥陀経藏記」となり、「秋田や・松本や」と相板にする。

(10) ABCは「村上勘左」と相板、DEFは「林久二郎」と相板。

(11) 別の処で「秋田や」としてBⅠFに掲出する。Bで重複したので、本項を削除したと考えられる。

(12) Aのみ五冊とする。

(13) DEFでは五冊として、「阿弥陀経要解 同百川記 九匁」となる。

(14) ABは一冊とする。

(15) ABは「池田や」と相板とするが、CⅠFではこれを削除。誤刻と考えるので相板として掲げなかつたし、「池田や」の項でもこれを掲出しなかつた。

(16) ABは一冊とする。

(17) 「和漢歴代備考」のみ「井筒伝右」とする。井筒屋伝兵衛の誤刻かと考えこれも合せたが、或いは井筒屋伝右衛門なる書肆がいたのかも

れない。もし伝右衛門が存在したとすれば、コメントのところで記した、名と住居は伝右衛門のものということになる。「書買集覽」は、伝兵衛の住居を「三条通室町角」としている。

(18) EFは七冊とする。

(19) ABには著者名ナシ。

(20) ABには「抄」の字ナシ。

(21) 二冊として「井上忠」と「いづみ」が同界に併記され、「古文後集絵入 三ノ」とあり、その下に「三匁」と「四匁五分」の値段を併記する。絵入本に二冊本と三冊本があり、両書とも「井上忠」と「いづみ」の相板かとも考えられるが、筆者は各々を単独と考えた。

(22) AⅠEまでは単独とし、Fのみ「の田」との相板とする。